

われらの

農業委員・推進委員

◇95◇

陸前高田市農業委員

村上弘吉さん

陸前高田市農業委員会
(折戸勝見会長、委員20人)
で現在2期目の村上弘吉
(こうきち)委員(75)は、

5年半に及ぶ仮設住宅住
まいの間、内陸部にある被
災しなかった水田に通い続

地区内の農業者と共にコメ
の減農薬無化学肥料栽培に
取り組み、十数年になる。

村上委員は、気仙川の河
口部の両岸にある同市気仙
町今泉地区に居住し、地区
内の農地を中心に3畝を耕
作していたが、2011年
3月の津波により農地が被
災。農業機械を流失し、自
宅が全壊した。

「被災に負けない」次世代に示す

け、昨年9月、地区内の高
台に自宅を再建した。

避難生活中の13年4月、
さまざまな作業をこなす。

操作の他、大工、土木など
さまざまな作業をこなす。

同地区の農業者と共に今泉
復興農事組合(菅野勝(つ
よし)組合長(元農業委員))
を起ち上げ、地区内にある
復旧田で耕作を再開した。

豊富な職業経験から、機械
た。組合で生産したひとめ

東日本大震災の津波前か
ら取り組んでいる減農薬無
化学肥料栽培は、同組合の
菅野剛(たけし)事務局長の
「うまいコメをつくりたい」
との強い思いから生まれ

「休まず、無理せず働き続
けたい」と語る村上委員。
農業委員会総会に耕作地か
ら直接かけつける「農業者
の代表」である。
(陸前高田市農委会・菅
野光二情報員)



村上弘吉委員



稲刈り体験で小学生を指導

さすが、肥料の原料として
それぞれ提供される。

酒とコメをセットにして
販売している(株)いわ井(酔
仙酒造の前身)のうちの1
社)の警井正篤(せいとく)
代表取締役は、「私たちの
取り組みを見て、若い人が
地元のものを見直してくれ
ればうれしい」と語る。

気仙川の対岸でも行政に
よる被災農地復旧への動き
が始まっている。「今泉の
農地を他地区の人に任せる
わけにはいかないでしょ
う」と、復旧後を見据えて

岩手

岩手支局
岩手県農業会議

盛岡市菜園1-4-10
第2産業会館内
019-6222-5825